

活躍する卒業生

ふたつの勇氣と 笑顔を胸に…

平成17年3月／大学・総合政策学部 総合政策学科卒
ティースターフィールド 所属
手話シンガー 水戸 真奈美

2011年3月11日東日本大震災の時には、東京にいました。
都内でも大混乱の中、震源が宮城県であることを知りました。その後テレビに映る現実とは思えない
様子に涙が止らず、家族、友人、先生方、学校の事が心配で眠れぬ夜を過ごしました。
私が通っていた総合政策学部は、幅広い分野で活躍できる人材育成を理念とする学部です。
私の4年間は、全てが新鮮で充実していました。そして自分自身の人生を考える貴重な時間でもあ
りました。

音楽は日常生活でいつも耳にする事が出来、人に元気や、感動、癒しを与える、魔法のようなすご
い力があると感じていました。自分を人の為に役立てたいと考えていた私は、自分の歌で人を幸々に
出来たらと考え始めました。

私は人前で話す事も苦手で引っ込み思案で自分の意見を言うことも出来ませんでした。しかし卒
業後、後悔したくない一心で両親を説得し勇氣を出して上京しました。

東京生活が始まって、ティックレコースというレコード会社と契約。全ての歌詞に手話を付ける「手話シンガー」として活動していま
す。多くのことを学び、経験し、2010年4月に念願のCDデビューを果たすことが出来ました。

歌に手話を取り入れたのは、より多くの方々に聞いて欲しいという思いからです。「手話」は私自身の性格を変え、大切な人との出会い
をもたらし、私自身と人生を変えてくれたと言っても良いくらい大きなものとなりました。

今は手話を、すべての子供からお年寄りまで多くの皆さんにも楽しく自然に身につけることができるような活動をしています。
この震災後も南三陸町を中心に、微力ながらも支援活動をさせていただいていますが、自分の手話歌でたくさんの笑顔が見えるのが私
にとって一番幸せなことだと実感しています。

歌手としての成功への道のりはまだまだ険しいと思います。私は二つの勇氣を学びました。「諦める勇氣」と「諦めない勇氣」です。障害
を持った方はその障害を受け入れ跳ね返すエネルギーがあります。私も成功を信じ諦めない勇氣を持ち続けて頑張ろうと思っています。

今回の震災では、手話というキーワードから思いもよらない方々との出会いと感動がありました。頑張ることで求心力が生まれチャンスが
来る。皆さんと、それぞれの人生、諦めない事、挑戦する事、頑張る事、「成功・幸せ」へのプロセスを共有できたら嬉しいです。



日本復興の 力になれば…

平成19年3月／大学・科学技術学部 住環境デザイン学科卒
平成21年3月／大学院・健康社会システム研究科 生活環境情報専攻 前期修了
積水ハウス株式会社 勤務

篠塚 雅也

大学院を修了してから2年半、電車で片道2時間以上掛けて通学していたことを懐かし
く感じています。お陰様で今では電車に乗るのが嫌いになってしまいました。

中学時代に何気なく決めた「1級建築士になる」という目標に「更なる付加価値を」と、大
学・大学院では野崎研究室で室内空気質の研究に没頭しました。いつ思い出しても当
時は大変だったという印象しかありませんが…。

大学院修了後、積水ハウス株式会社に入社。いわき支店（福島県）に配属され、半年の
研修期間を終えた後、確認申請などの申請業務を担当しながら住宅設計のノウハウを学ん
できました。そして昨年、念願の1級建築士の資格を取得し、今年4月から設計担当として、
これまで7棟の住宅の設計に携わりました。

住宅の設計には、住宅設備、家具・家電、家相や風水に関する知識、施主の漠然とした
イメージを形にするプランニング能力などなど、実に幅広い知識・能力が求められます。打合せを行う度に様々な課題が見付かり、ひたすら
調べ、先輩社員や業者の方々に聴き回り、次々と壁にぶち当たっては解決策を模索する毎日です。

3月11日の「東日本大震災」。大学時代何度も利用していた仙台空港に津波が押し寄せる映像は悪夢としか言いようのない衝撃的な
光景でした。いわき市（福島県）も地震と津波により甚大な被害を受けました。原発の影響で避難を余儀なくされた時期もありましたが、地
震発生直後からオーナー様の安全確認や救援物資の配布など、社員総出で対応しました。そんな中、ツイッターに感謝の言葉がツイート
された時はうれしかったですね。

現在、当社に来店する方々の多くは地震や津波で家を失い、様々な不安を抱えています。この様な方々の不安を取り除き、「安全・安心」
な住まいの提供を通して、日本の復興に微力ながら貢献できれば、そんな思いで頑張っています。



学生生活で得た 今の自分にとっての大切なこと

平成15年3月／大学・総合政策学部 総合政策学科卒
仙台秋保温泉ホテルニュー水戸屋 勤務
古山 大樹

私が入学した年は大学が開校したその年、正に第1期生としてスタートさせていただきました。専攻していた学部は総合政策で、その中
でも観光業に興味があった私は、歓楽街や温泉街、世界遺産の街など、それぞれの主な特徴や問題点などを研究し学んで参りました。そ
して私が卒業論文として挑んだテーマ、それが「温泉街における街づくり対策について」でした。

無事秋保温泉ホテルニュー水戸屋の就職試験に合格した私は、就職して現在9年目になります。主な仕事内容は、玄関先に立ち、お
客様をお出迎えし、チェックイン作業を済ませ、お部屋までご案内する事、これが毎日の仕事です。なるべくスムーズに見栄え良く、お客様
をお通しするため、いろんな工夫や努力をしています。お客様の中にはお子様連れのご家族や会社の集まり、車イスの方や知的障害者の
方、また有名人がお忍びでいらしゃったり、中には暴力団や過去にホテル内で重大な問題を起こしてしまった方などどうしても入館をお
断りしないといけないお客様もいらっしゃいます。そうしたお客様方をフロントロビー内で、
波風立えず、ゆったりとした空間を演出し、同時に素早くチェックイン作業を済ませることが
私たちの仕事です。

社会人としての心得、失敗しながらたくさん学ばせていただきました。しかし、学生生活
で得た物も社会の中で役に立ったと感じる事も多くあります。パソコンのスキルだったり、
英語での接客の場面もあります。また、学生時代の友達や先生方、バイトの仲間や上
司、人脈を大事にするなど様々な場面で本当によかったと感じる事が今になってよくわか
ります。私は今、ホテル内における会議パーティーの責任者で、家に帰れば二児のパパで
す。毎日忙しい日が続いているのですが、友達や先生方からはがきやメールで連絡が届くこと
が、なによりも励みになっています。



平成23年3月卒業生 各賞受賞者発表

平成23年3月、学部生453名、大学院生5名の皆様が東北文化学園大学をご卒業され、新たに同窓会員となりました。
今年3月は大震災の影響により、卒業式とともに卒業生各賞受賞者の表彰式も執り行われませんでした。よってここに、学生時代に華やかな学業成
績を修めた学生へ贈られる「学長賞」、大学生活において際立った活躍をし、校友会の発展に大きく貢献した学生へ贈られる「輝ける者賞」を受賞され
た、19名の皆様をご紹介します。

◆学長賞[8名]

湯澤 洋紀さん（リハビリテーション学科 理学療法専攻）
佐藤 麻未さん（リハビリテーション学科 作業療法専攻）
齋藤 祐佳さん（保健福祉学科 保健福祉専攻）
東海林見城さん（保健福祉学科 生活福祉専攻）
松川 詠太さん（保健福祉学科 精神保健福祉専攻）
大類 蘭さん（総合政策学科）
伊東 祐耶さん（コンピュータサイエンス学科）
熊谷 卓也さん（住環境デザイン学科）

◆輝ける者大賞[1名]

粕川 梓さん（総合政策学科）

◆輝ける者賞[10名]

大柄 亨さん（リハビリテーション学科 理学療法専攻）
虎岩 辰弥さん（リハビリテーション学科 作業療法専攻）
小川内 健さん（保健福祉学科 保健福祉専攻）
遊佐紗紀子さん（保健福祉学科 保健福祉専攻）
我妻 大史さん（保健福祉学科 保健福祉専攻）
渡邊 啓人さん（保健福祉学科 保健福祉専攻）
佐藤 隆輔さん（保健福祉学科 保健福祉専攻）
大友ゆかりさん（保健福祉学科 生活福祉専攻）
千歳翔太郎さん（総合政策学科）
下館 芽依さん（住環境デザイン学科）

『輝ける者大賞』受賞！

平成23年3月
大学・総合政策学部 総合政策学科卒
粕川 梓



私の所属していたゼミ担当の長野先生か
ら「輝ける者大賞受賞おめでとう」と電話が
来たときは、驚きと嬉しさのあまり叫んでしまいました(笑) 大学生活で
はいろんなことに挑戦してみました。中でも女子大生で街を盛り上げる
ために作ったフリーマガジン「イクメン手帖」では、企画や営業、取材
や記事作りなどをすべて自分たちで行い初めてのこ
ばかりで大変でしたがすごく充実
した大学生活となりました。このよ
うな経験を社会に入ったら、多
面で活かし少しでも街が元気にな
るように頑張りたいです。



各賞受賞者の皆様、本当におめでとうございます。